

報道関係者 各位

2016年11月7日

世界各地の人びとと「とり」とのかかわりを探る

**2016年度 年末年始展示イベント「とり」**

国立民族学博物館で2016年12月8日(木)から開催

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園 10-1)では、2017年の干支である「とり」をテーマにした年末年始展示イベント「とり」を2016年12月8日(木)から開催する運びとなりました。

干支展は2005年の酉年から始まり今年で13回目となります。今年の干支展は、日本だけでなく世界各地の「とり」に関連した標本資料やパネル、写真等を展示して、人びとの生活や文化と鳥とのかかわりをみなさまに紹介します。これは、みんぱくならではの展示です。



儀礼用仮面(カナダ)



水差し(アメリカ)



孔雀舞衣装(中国)

**【展示コンセプト】**

基本テーマは「鳥と人とのつながり: 日々の暮らしから精神世界まで」。

鳥は、地球上に1万種以上いるといわれ7大陸すべてに生息しています。私たち人間は、各地に生息する鳥たちと深くかかわりながら生きてきました。ときには、その肉を食べ、その声を愛で、その羽を身にまとい、その存在を伴侶とする。また霊魂を鳥に託して天上へ運んだり、鳥を悪魔の手先として敬遠したりすることもあります。

本展示では日々の暮らしから精神世界まで、人間社会と多様なかかわりを持つ鳥に注目し、4つのテーマを設けて紹介していきます。

## 【コーナー紹介】

### 1. いろどる

私たちは、身のまわりの生活用具や置物、飾り物のなかに鳥を描いたり、かたどったりすることで暮らしに彩りをくわえます。このコーナーでは、日常のなかにみられる鳥を紹介することで、私たちの日々の生活と鳥とのかかわりを考えていきます。

### 2. よそおう

鳥は、世界各地の自然条件に適応するため、サイズや模様を多様に進化させてきました。私たちは、鳥の羽毛がもつ造形美に注目し、それを使って美しく装ってきました。このコーナーでは、色鮮やかな羽や特徴的な嘴をつかった頭や耳、舌、指、腰の飾り物を紹介することで、多彩な鳥と人との接点を理解していきます。

### 3. いのる・あがめる

鳥は、神の使いとして尊ばれたり、神そのものとして扱われたりすることもあります。このコーナーでは、神像や影絵人形などを展示することで、世界各地の人たちの精神世界のなかでの鳥を理解していきます。

### 4. 身近なとり

このコーナーでは、「ニワトリ」、「フクロウ」、「ウ」を取りあげ、これら鳥類に関わる造形物や絵画を紹介します。日本人の誰もが知っており、かつ身近な存在としての鳥たちが、世界各地でどのように表象・表現されているのかを考えていきます。

## 【開催概要】

展覧会名	年末年始展示イベント「とり」
日時	2016年12月8日(木)～2017年1月24日(火) 休館日:水曜、12月28日～1月4日
会場	国立民族学博物館 本館展示場 ナビひろば
プロジェクト チーム	卯田宗平(国立民族学博物館 准教授)、野林厚志(同教授)、上羽陽子(同准教授)、 日高真吾(同准教授)、園田直子(同教授)、末森薫(同機関研究員)、 戸田美佳子(同機関研究員)、内田吉哉(同機関研究員)、教職員研修チーム、 企画課、情報課
観覧料	一般 420円／高校・大学生 250円／小・中学生 110円(本館展示と共通)
主催	国立民族学博物館

## 【関連イベント】

## ・ウィークエンド・サロン—研究者と話そう

## 「日本の鵜飼文化は誰が守るのか」

開催日:2017年1月15日(日)  
時間:14:30~15:00  
場所:本館第3セミナー室  
参加費:無料(申込不要)  
講師:卯田宗平(本館 准教授)

## ・ギャラリートーク

開催日:2017年1月9日(月・祝)※無料観覧日  
時間:11:00~11:30/14:30~15:00  
場所:本館ナビひろば  
参加費:無料(申込不要)  
講師:卯田宗平(本館 准教授)

## 「みんなばくでバードウォッチング！」

開催日:2017年1月9日(月・祝)※無料観覧日  
対象:子どもから大人まで(小学生以下は保護者同伴で参加のこと)  
参加方法:当日随時受付  
時間:10:00~17:00(16:00 受付終了)  
場所:本館1階 エントランスホール、本館展示場  
参加費:無料  
定員:先着 350名(当日随時受付・先着順)

## ・みんなばくミュージアムパートナーズ(MMP)企画

## 「おりがみで遊ぼう！干支シリーズ(酉)」

開催日:2017年1月9日(月・祝)・無料観覧日  
時間:11:00~/11:20~/11:40~  
13:00~/13:30~(各回20~30分程度)  
場所:本館エントランスホール  
参加費:無料  
定員:各回10名(当日受付・先着順)  
※6歳未満の方は保護者同伴でご参加ください。

## 「干支の酉で絵馬をつくろう」

開催日:2017年1月15日(日)  
時間:10:30~16:30(随時受付)  
場所:本館エントランスホール  
参加費:無料  
定員:80名(当日随時受付・先着順)  
※6歳未満の方は保護者同伴でご参加ください。

「干支にちなんだ西アフリカの昔話をかたる」

開催日:2017年1月15日(日)

時間:11:00~11:30、13:30~14:00

場所:本館エントランスホール

参加費:無料

定員:各回10名(当日受付・先着順)

※6歳未満の方は保護者同伴でご参加ください。

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 総務課 広報係  
電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp  
プレス向けウェブサイト [www.minpaku.ac.jp/press](http://www.minpaku.ac.jp/press)



1. 儀礼用仮面 カナダ



2. 水さし アメリカ



3. 土人形「情熱の鳥」 ペルー



4. 石彫「鳥の精」 カナダ



5. 孔雀舞衣装 中国

これらの広報画像はデータにて提供可能です。  
ご入り用の画像があれば、総務課広報係まで次頁申込  
用紙の内容をお知らせください。

